

SK SATO

デジタル温度計 (熱電対K-type)

SK-1120 (2Channel)

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.

はじめに

このたびはデジタル温度計（熱電対K-type）「SK-1120」をお買いあげいただきありがとうございました。

◎この商品は、温度をはかるものです。それ以外
の使用はしないでください。

◎ご使用前には必ず取扱説明書をお読みにになり、
大切に保管してください。

（→P. ）は関連事項の参照ページを表します。



警 告

本器は防爆構造ではありませんので、引火性
ガスを含んだ雰囲気でのご使用は絶対にしない
でください。



爆発注意

爆発する恐れがあり危険です。

●ご不明な点がありましたらお買いあげ店、ま
たは弊社にご相談ください。



注 意

本器を正しくご使用いただくために、以下のこ
とを守ってください。

- ・本器は体温計ではありません。体温計として
のご使用はしないでください。
- ・分解、改造をしますと故障の原因となります
ので絶対にしないでください。

- 本器は精密計測器ですので、落下させたり、振動・衝撃を与えないよう注意してください。
- 本器の使用環境条件は温度 0℃～50℃、湿度 80%rh以下です。使用環境条件外での使用は故障の原因となります。
- 直接日光の当たる場所や熱器具の近くでの使用は避けてください。正しい測定ができないだけでなく、ケースの変形、変色の原因となります。
- 電氣的ノイズが発生する環境でご使用になりますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- 測定範囲外でのご使用は故障の原因となりますので絶対にご使用しないでください。
- 本器は防水構造ではありませんので、絶対に濡らさないでください。水中でのご使用はしないでください。
- 屋外での使用は本体およびセンサに雨水がかからないようにしてください。濡れた場合は故障の原因となります。
- 自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障することがあります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を取り外してください。乾電池を入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があります、故障の原因となります。
- 不要になった乾電池は火中に投入しないでください。乾電池が破裂してけがや、やけどをする恐れがあります。

- 乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 環境保全のため使用済み電池はそれぞれの市町村の条例に基づいて処理するようにお願いします。
- 液晶ディスプレイを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶ディスプレイのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶ディスプレイが割れた場合、液晶ディスプレイ内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。目に入ったり、皮膚に付着した場合はきれいな流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
- 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤で洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。
- センサコードを改造、無理に引っ張る、曲げる、束ねることをしないでください。断線の原因となります。また、センサコードの上に重いものを載せたり加熱すると、センサコードが破損します。
- センサ先トガリ部は使用後の汚れ拭き取り時および落下などに十分気をつけてください。ケガをする恐れがあります。

修理および校正はお買いあげ店または弊社にお申し付けください。

概要

本器はK熱電対入力の手回し型2チャンネル温度計です。大きな液晶を採用しており、温度指示値の読みとりが容易です。

※温度センサは別売りです。

特長

●見やすい大きな液晶表示

大きな表示部（液晶）に温度値を表示します。表示する文字の高さが18mmと読みやすくなっています。（上段表示部）

●MAX・MIN表示機能

MAX/MINキーを押した以降の最高温度値または最低温度値を表示します。

●指示値ホールド機能

HOLDキーを押すことにより温度測定値を固定（ホールド）します。

●センサを2チャンネル接続

センサを2本接続することができます。センサ切り換えキーを押すことにより、1チャンネル表示（T1）と2チャンネル表示（T2）を上下段切り換えて表示することができます。また、（T1－T2）の温度差を表示することができます。

●平均温度測定機能

AVGキーを押した以降の温度測定値の平均を表示します。

●OFFSET（REL）機能

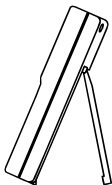
OFFSETキーを押したときの温度を基準とした温度差を表示します。

●バックライト機能

暗い場所でも温度指示値が読める液晶バックライト機能があります。

● スタンド

本体背面のスタンドを利用することで、本体を立てて使用することができます。



注 意

※電源投入時および分解能切り換え時に一瞬、測定値以外の指示値が表示されることがありますが、故障ではありません。

※30分間でオートパワーオフ機能が働きます（オートパワーオフ機能は解除できません）。

但しMAX表示、MIN表示、AVG表示の場合はオートパワーオフ機能は働きません。

目次

●各部の名称と働き	1 ~ 5
・ 本体部	1 ~ 3
・ 表示部	3 ~ 5
●保管のしかた	5
●電池のセット・交換	6
●本体ビニールカバーの取り付け	7
●測定	8 ~ 9
●HOLD機能	10
●MAX/MIN機能	10 ~ 11
・ その他の使い方	10
●AVG機能	11
●分解能切り換え機能	12
●バックライト機能	12
●T1 - T2 温度差表示機能	13
●OFFSET (REL) 機能	13
●TIME 機能	14
●エラーメッセージ	15
●トラブルシューティング	16 ~ 17
●センサについて	18 ~ 20
●仕様	21
●インターネットホームページ	22
●保証規定	22
・ 品質保証書	

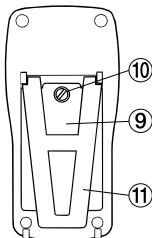
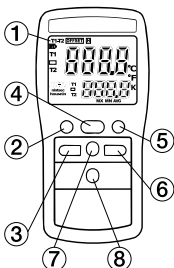
各部の名称と働き

●本体部

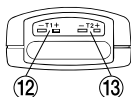
(正面図)

(背面図)

センサ接続2チャンネル



(上面図)



①表示部：温度指示値及び本器の状態（液晶ディスプレイ）を示すキャラクタを表示します。

②P W R キー：キーを押すと本器の電源が入ります（測定モードになります）。もう一度押すと電源が切れます。



- ③MAX/MINキー：測定モード（通常測定）時にこのキーを押すことにより、キーを押してからの最高温度値（MAX値）、最低温度値（MIN値）を記憶します。



記憶モード（MAX/MIN値表示）時にこのキーを押すとMAX/MIN表示を切り換えます。記憶モード（MAX/MIN値表示）時に2秒以上押すことにより測定モードに戻ります。

- ④H(HOLD)キー：測定モードまたは記憶モード時にこのキーを押すことにより、温度指示値をホールド（固定）することができます。再度、このキーを押すことにより測定モードに戻ります。



- ⑤バックライトON/OFFキー：



バックライトのON/OFFを設定します。

- ⑥TIMEキー：表示部左下にこのキーを押したときからの時間をタイムアップします。



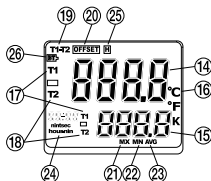
- ⑦OFFSETキー：このキーを押したときの温度を基準とした温度差を表示します。（OFFSET＝REL機能）



- ⑧センサ表示切り換えキー：チャンネル 1（T 1）、チャンネル 2（T 2）に接続しているセンサの測定値表示を切り換えます。また、チャンネル 1 とチャンネル 2 の温度差（T 1－T 2）を表示することができます。
- ⑨電池力バ－：乾電池は単 4 形乾電池 6 本を使用します。
- ⑩電池力バ－固定ネジ：電池力バ－を本体に固定します。
- ⑪ス タ ン ド：本器を立てかけて使用することができます。
- ⑫センサコネクタ部：センサの 1 チャンネル接続（1 チャンネル）部です。
コネクタは K 熱電対専用コネクタです。
- ⑬センサコネクタ部：センサの 2 チャンネル接続（2 チャンネル）部です。
コネクタは K 熱電対専用コネクタです。



●表示部



⑭7セグメント表示部(上段)：測定温度またはチャンネル1とチャンネル2の温度差を表示します。センサ表示切り換えキーを押すことでT1、T2、T1-T2表示に切り換えることができます。

⑮7セグメント表示部(下段)：測定モード時は測定温度を表示します。センサ表示切り換えキーを押すことで、T1、T2表示に切り換えることができます。記憶モード時はMAX値、MIN値またはAVG値を表示します。

⑯温度測定単位キャラクタ：温度の測定単位は℃（摂氏温度）です。

⑰T1キャラクタ：本体T1コネクタに接続されているセンサ測定値を表示しているときに点灯します。

⑱T2キャラクタ：本体T2コネクタに接続されているセンサ測定値を表示しているときに点灯します。

⑲T1-T2キャラクタ：7セグメント表示部(上段)にチャンネル1とチャンネル2の温度差を表示しているときに点灯します。温度差はT1からT2を引いた値（T1-T2）を表示します。

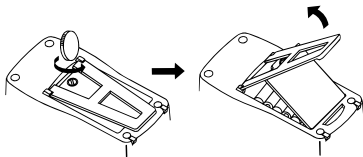
- ②0 **OFFSET**キャラクタ：**OFFSET (REL)** 機能動作中に点灯します。
- ②1 **MAX**キャラクタ：最高温度表示中に点灯します。
- ②2 **MIN**キャラクタ：最低温度表示中に点灯します。
- ②3 **AVG**キャラクタ：平均温度表示中に点灯します。
- ②4 時 間 表 示：**TIME**キーを押した後からの時間経過を表示します。
MAX/MINキーを押した場合、最高温度、最低温度各々の発生時間及び経過時間を表示します。
- ②5 **H**キャラクタ：温度指示値固定中（ホールド中）に点灯します。
- ②6 ローバッテリーマーク：乾電池の容量が少なくなってきたときに点灯します。
新しい乾電池と交換してください。

保管のしかた

- 本器の保管温度は-10～60℃、保管湿度は80% rh以下です。保管場所は高温多湿を避けてください。
- 自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器を故障させることがあります。このような場所には放置しないでください。

電池のセット・交換

- ①電池カバーのネジをマイナスドライバーまたはコイン（1円玉）にて反時計方向に回し、固定ネジを外し、スタンドを跳ね上げてから電池カバーを外してください。



- ②乾電池交換の場合は古い単4形乾電池6本を取り出してください。
- ③電池収納部の彫刻に従い、極性（プラス・マイナス）を確認して正しく単4形乾電池6本をセットしてください。
- ④電池カバーを取り外したときと逆の手順で電池カバーを取り付け、ネジにて固定してください。



注 意

表示部にローバッテリーマークが点灯した場合は速やかに新しい乾電池と交換してください。ローバッテリーマークが点灯した状態で使用すると測定精度に影響を及ぼしたり、誤動作する恐れがあります。乾電池は6本とも同じ種類のもので、すべて新しいものをご使用ください。種類が違ったり、古いものと混ぜると破裂や液漏れの恐れがあります。

本体ビニールカバーの取り付け

本体ビニールカバーを付属しています。本体ビニールカバーを取り付けることにより、濡れた手でも、本体の操作が可能です。また、本体にゴミや汚れが付着することを防ぎます。



注 意

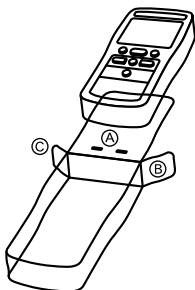
※本体の防水性能を保証するものではありません。水中に入れないでください。

また、水しぶきのかかる場所で使用しないでください。本体が故障します。

※本体ビニールカバー内部に水が入った場合、すぐに本体を取り外してください。本体ビニールカバーを装着して使用するときは、本体ビニールカバーに水が入らないように注意してください。

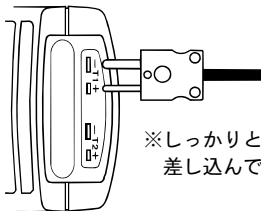
※本体ビニールカバーご使用の際、本体ビニールカバーに静電気が帯電し、指示値が不安定になることがあります。そのような場合は、本体ビニールカバーを外してご使用ください。

- ① 本体表示部面と図①の面を合せて、本体ビニールカバーの奥までしっかりと入れてください。
- ② 図②および図③を本体側に折り曲げます。
- ③ 本体上部から本体背面にかけて、本体を包み込むように図④を折り曲げます。



測定

- ①本体にK熱電対センサを接続してください。
センサプラグはK熱電対専用コネクタを使用しています。プラグの+、-を合わせて接続してください。



※しっかりと奥まで差し込んでください。

注意：接続プラグは必ずK熱電対専用コネクタを使用してください。K熱電対センサ以外の熱電対は使用しないでください。正確な温度測定ができません。

- ②PWRキーを押して本器の電源をONにします。
電源ON時に液晶部が約1秒間全点灯して測定モードになります。



L C D (液晶) 全点灯時

注意：センサが本器に接続されていない場合は、
O L (オーバーレンジ) または - O L 表示となります。

- ③より正確な温度測定をする場合は、気体・液体・固体を問わず「感温部の先端からおよそ感温部の直径×15倍の長さ」(SK-K010の場合、約

35mm以上) 測定対象物に挿入してください。これは外気(感温部周辺)の温度影響を受けにくくするためです。

- ④PWRキーを押すと、本器の電源がOFFになります。



注 意

※高い温度を測定する場合には、やけどにご注意ください。

※感温部以外を高温の場所に近づけないでください。変形したり、故障の原因となる恐れがあります。

高い温度を測定する場合は、P. 8 ③を参考にし、測定対象物からの距離を保ってください。

※本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響を及ぼすことがあります。周囲の温度に十分なじませた後に測定を行なってください。厳密な温度測定をする場合、周囲温度が10℃以上変化したときは本器を30分以上、ご使用される温度雰囲気になじませてください。

※電源投入時に一瞬、測定値以外の指示値が表示されることがありますが、故障ではありません。

HOLD機能

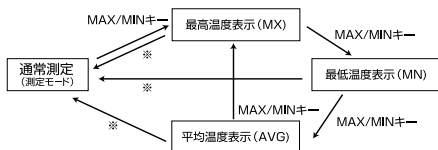
測定中、温度変化が激しい場合など、**[H]** (HOLD) キーを押すことにより、表示が固定され測定指示値の読みとりが容易になります。

再度、HOLDキーを押すことにより、HOLD機能が解除されます。

MAX/MIN機能

MAX/MINキーを押した時点からの最高温度値 (MAX) と最低温度値 (MIN) を記憶することができます。この時、表示部にMAXキャラクタまたはMINキャラクタが点灯します。通常の測定モードに戻すためにはMAX/MINキーを2秒以上押してください。

表示動作は次図の通りです。



※各MAX・MIN・AVG表示モードから測定モードに戻るためにはMAX/MINキーを2秒以上押してください。また、液晶の時間表示部に最高温度 (MAX)、最低温度 (MIN) の発生時間を表示することができます。

●その他の使い方

MAXまたはMINの表示状態のまま使用すると、測定値が更新されるごとに新しい測定値を表示しつづけます。このようにピークホールド計 (常に最高温度、または最低温度を表示する機能) としてご利用することができます。



注 意

※センサが接続されていない状態で、MAX/MINキーを押した場合、「OL（オーバーレンジ）」を最高温度（MAX値）と最低温度（MIN値）として記憶します。従って、MAX/MINキーを押した後にセンサを接続した場合は、一度本器の電源を切る、またはMAX/MINキーを押して測定モードに戻してから、MAX/MIN機能をお使いください。「OL」が解除されます。

※チャンネル1（T1）またはチャンネル2（T2）のいずれかに「OL」が記憶されている場合、（T1-T2）は「OL」表示となります。

AVG機能

平均温度（AVG）を表示することができます。MAX/MINキーを押した時点からの平均温度を表示します。表示する平均温度は加算平均値（約9時間まで）です。

MAX・MIN・AVG表示は、上段に表示されている測定値に対して、例えば上段にT1の測定値が表示されている場合はT1のMAX・MIN・AVG値を表示します。

分解能切り換え機能

自動分解能切り換え機能を有しています。温度上昇時は199.9℃以下、温度下降時は190℃以下において分解能0.1℃となります。



注 意

※温度表示分解能 1℃のときにも小数点を表示します。

バックライト機能

液晶バックライト機能を備えています。本器の☀️キーを押すことにより、液晶ディスプレイが緑色に点灯します。暗い場所における測定でも液晶ディスプレイの温度値や測定情報を容易に読みとることが可能です。再度、☀️キーを押すことによりバックライト点灯を解除することができます。バックライトは1分間キー操作がない場合、自動的に消灯します。



注 意

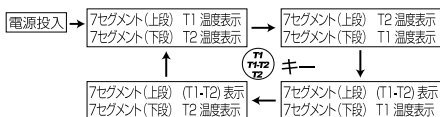
※バックライト点灯時は乾電池の寿命が短くなります。

※バックライトの偏光板に小さなシミが見えることがあります。不良ではありません。

T 1 - T 2 温度差表示機能

本体にセンサを2本接続することができます（本体T 1コネクタ、本体T 2コネクタ）。

センサ2本のそれぞれの温度値を測定することができます。また、T 1 - T 2の温度差を表示することができます（（T 1 - T 2）キャラクタ点灯）。



注 意

※接続するセンサはK熱電対をお使いください。
また、本体T 1コネクタと本体T 2コネクタ
には必ず同じ種類・特性のセンサを接続して
ください。

OFFSET (REL) 機能

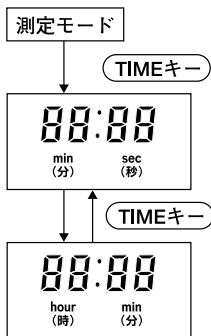
OFFSETキー（▲）を押した時点の温度値を基準とした温度差を表示することができます。（REL機能）

OFFSET表示時にMAX/MINキーを押すと、OFFSET値のMAX・MIN・AVG値が表示されます。

解除する場合はMAX・MIN機能を解除した後、OFFSETを解除してください。

TIME 機能

TIME キーを押した時点からの時間経過を時間表示部に表示します。TIME キーと時間表示は下記の関係となります。



時間経過(タイムアップ)表示の途中でMAX/MINキーを押した場合、MAX、MIN機能が優先になり、最高温度値(MAX)と最低温度値(MIN)の記憶開始時間からの時間経過(タイムアップ)表示となります。

時間表示を解除する場合は、TIMEキーを2秒以上押してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対策
OLまたは-OL	本体にセンサが接続されていない。	本体にセンサを接続してください。接続可能な熱電対はKタイプです。
	本体にKタイプ以外の熱電対が接続されている。	Kタイプの熱電対を接続してください。
	測定温度が本体表示範囲を超えている。 (-203.3~1368℃)	本器表示範囲は左記の通りです。速やかにセンサ測定範囲内の温度に戻してください。
	接続しているセンサが断線している。	センサを交換してください。

トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがあります。
修理を依頼される前にもう一度お調べください。

(→P.〇〇) はそれぞれの説明の参照ページを表しています。

不具合症状	予想される原因	対 策
●電源が入らない。	乾電池の容量がなくなっていますか？	新しい乾電池と交換してください。(→P. 6「電池のセット・交換」)
	乾電池を交換しても電源が入らない場合、本体内部の部品が破損している恐れがあります。	本器を落としたり、強い衝撃を与えませんでしたか？ 本器内部の部品が破損した場合、修理が必要となりますので、お買いあげ店または弊社までご連絡ください。
	乾電池の極性は合っていますか？	乾電池の極性を確認してください。極性を間違えてセットした場合、乾電池が破裂したり、液漏れする恐れがあり、大変危険です。(→P. 6「電池のセット・交換」)
●温度指示値が異常である。	乾電池の容量がなくなっていますか？	新しい乾電池と交換してください。(→P. 6「電池のセット・交換」)
●温度指示値が不安定である。	本体内部温度が測定周囲温度になじんでいない。	本体を測定周囲温度になじませてから測定を開始してください。

不具合症状	予想される原因	対 策
●温度指示値が異常である。 ●温度指示値が不安定である。	センサが切れかかっている、感温部が変形している。	センサの外観を確認してください。センサに異常がある場合、修理が必要となりますので、お買いあげ店または弊社までご連絡ください。
	センサのコネクタがしっかり挿入されていない。	センサのコネクタを奥までしっかり挿入してください。(→P. 8「測定」)
	感温部が測定対象物に十分接触していますか？	測定方法を確認してください。熱容量の小さな測定対象物の場合、感温部太さにより温度指示値に影響があります。(→P. 8「測定」)
	電氣的なノイズが発生する環境でご使用していますか？	電氣的なノイズが発生する環境で使用すると、温度指示値に影響が出ることがあります。測定場所を移動してください。ノイズによってはシールドを行うことが有効です。本体・センサグリップ及びセンサコードにアルミホイルなどを巻き付けてシールドしてください。

センサについて

■K熱電対センサ

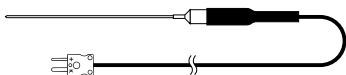
●SK-K010 (標準センサ)

温度測定範囲：-50～300℃ コード長：約0.75m
寸 法：感温部φ2.3×L 150mm(SUS316)
温度測定精度：クラス1



●SK-K020

温度測定範囲：-50～300℃ コード長：約0.75m
寸 法：感温部φ1.0×L 100mm(SUS316)
温度測定精度：クラス1



●MC-K7100 液体・粘性体・半固体用

温度測定範囲：-100～300℃ コード長：約1.5m
寸 法：感温部φ2.3×L 150mm(SUS304)
温度測定精度：クラス1

●MC-K7101 一般計測用

温度測定範囲：-100～700℃ コード長：約1.5m
寸 法：感温部φ3.2×L 250mm(SUS304)
温度測定精度：クラス1

●MC-K7102 中・高温用

温度測定範囲：0～800℃ コード長：約1.5m
寸 法：感温部φ4.8×L 500mm(SUS304)
温度測定精度：クラス1

- MC-K7103 アスファルト用(オールステンレス、耐熱コード)
 温度測定範囲：0～300℃ コード長：約1.5m
 寸 法：感温部φ5×L250mm(SUS304)
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7106 アスファルト用(グリップ樹脂タイプ)
 温度測定範囲：0～300℃ コード長：約1.5m
 寸 法：感温部φ5×L250mm(SUS304)
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7301 静止表面用(中温)
 温度測定範囲：0～600℃ コード長：約1.5m
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7307 静止表面用(一般測定・低温)
 温度測定範囲：-30～400℃コード長：約1.5m
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7308 静止表面用(L型センサ・中温)
 温度測定範囲：-30～600℃コード長：約1.5m
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7108 堆肥用センサ
 温度測定範囲：0～300℃ コード長：約1.5m
 寸 法：感温部φ8×L900mm(SUS304)
 温度測定精度：クラス2
- MC-K7109 アスファルト用センサ
 温度測定範囲：0～300℃ コード長：約1.5m
 寸 法：感温部φ5×L250mm(SUS304)
 温度測定精度：クラス2
- ・センサに関するお問い合わせはお買い上げ店または弊社にお申し付けください。



注 意

- ※センサは防水構造ではありませんので、絶対に濡らさないでください。
- ※センサの温度測定範囲を守ってご使用ください。故障・破損の原因となります。
- ※高い温度を測定する場合には、やけどにご注意ください。また、高い温度の測定終了後は感温部のステンレスパイプ部分が熱くなっていますので、十分に温度が下がってから保管してください。
- ※先トガリ形状のセンサを使用する場合、尖った先端部によって思わぬケガをする恐れがありますので、取扱いにはご注意ください。
- ※K熱電対コネクタはANSI規格で定められた黄色を採用しています。JIS規格（JISC 1610-1995参照）またはIEC規格にて製作されたK熱電対センサはコネクタが緑色になっています。また、1995年以前のJIS規格にもとづいて製作されたK熱電対センサコネクタは青色になっています。

仕様

製 品 名	デジタル温度計（熱電対 K-type）
型 式	SK-1120
製 品 番 号	8014-04
測 定 要 素	温度（2チャンネル）
本 体 表 示 範 囲	-203.3～1368℃
本 体 測 定 精 度	-50～0.0℃：±(0.5%reading+1)℃ 0.1～1000℃：±(0.3%reading+1)℃ 1001～1300℃：±(0.5%reading+1)℃ ※上記範囲外は精度保証外です。 ※表面温度センサ接続の場合、上記精度+2%rdgとなります。 ※表示分解能1℃時は上記精度+1digitとなります。
本 体 表 示 分 解 能	0.1℃／1℃（自動切り換え）
測 定 サ ン プ リ ン グ	約0.5秒
使 用 環 境 条 件	温度：0～50℃ 湿度：80%rh以下 結露しないこと
保 管 環 境 条 件	-10～60℃、80%rh以下（結露なきこと）
電 源	単4形アルカリ乾電池LR03：6本
電 池 寿 命	連続測定 バックライトOFF時 約80時間 バックライトON時 約25時間 ※単4形アルカリ乾電池LR03使用時
寸 法	約(W)72×(H)151×(D)35mm
材 質	ABS樹脂
質 量	約255g（乾電池含む）
本 体 機 能	表示分解能切り換え機能 （自動切換） MAX・MIN表示機能 AVG表示機能 ホールド機能 OFFSET(REL)機能 バックライト機能 チャンネル1－チャンネル2温度差表示 オートパワーオフ機能(約30分)
付 属 品	取扱説明書 1部 単4形アルカリ乾電池 LR03×6本 本体ビニールカバー 1ヶ

※仕様および外観は改良のため予告なしに変更することがあります。

※付属の電池はモニター用のため、電池寿命が規定より短いことがあります。

インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。

<http://www.sksato.co.jp>

保証規定

- 1) 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社にご持参またはご送付ください。
- 3) 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - イ. 誤用・乱用および取扱不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じた傷等の外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買いあげ日、販売店名等）の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また、本証は再発行いたしません。大切に保管してください。

品質保証書

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管ください。

※当商品の保証書にご記入された、お客様の個人情報は、商品の修理・交換の商品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

品名 デジタル温度計

型式 SK-1120

※お客様名

※ご住所

※TEL ()

●以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印してください。

お買いあげ店名

㊞

ご住所

TEL ()

お買いあげ年月日 年 月 日

SK 株式会社 **佐藤計量器製作所**

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3丁目4番地

TEL 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119

